

2020 年度  
年次報告書

東京理科大学国際化推進機構  
国際化推進センター

## \* 目 次 \*

国際化推進センター長挨拶 .....	4
国際化推進機構・センター概要 .....	5
2020 年度事業報告 .....	8
< I. 学生の国際化 > .....	9
(1) 大学院生の国際会議発表促進 .....	9
大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業 .....	9
(2) 海外派遣学生の増員 .....	10
① 協定校等の派遣学生事業 .....	11
② 海外共同研究先への短期派遣学生事業 .....	12
③ カリフォルニア大学 1 年留学プログラム .....	12
④ ダブルディグリープログラム .....	13
⑤ 語学研修プログラム .....	15
⑥ インターンシッププログラム .....	17
(3) 外国人留学生の増員 .....	18
外国人留学生獲得施策 .....	18
< II. 教員の国際化 > .....	20
(1) 在外研究員派遣の推進 .....	20
在外研究員派遣事業 .....	20
(2) 若手研究者国際学会派遣の推進 .....	21
若手研究者国際学会派遣事業 .....	21
(3) 外国人教員の増員 .....	22
外国人教員の雇用状況 .....	22
(4) その他 .....	25
① 協定校への派遣研究者 .....	25
② 教員向け実務英語研修 「Academic English Brush-up Seminar」 .....	25
< III. 教育研究環境の国際化 > .....	26
(1) 研究室の国際化の推進 .....	26
① 外国人招へい教員事業 .....	26
② 協定校からの研究者受入れ事業 .....	26
③ 協定校等からの学生受入れ事業 .....	27
④ ダブルディグリープログラム .....	28
⑤ 国費外国人留学生制度 .....	29
⑥ IAESTE による海外学生受け入れ .....	30
⑦ 科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流 事業（さくらサイエンスプラン）」 .....	31

(2) 世界を身近にする環境整備 .....	33
① インターナショナルラウンジ .....	33
② 英語研修プログラム（英語村） .....	35
③ 海外協定校 .....	36
(3) 国際広報の充実 .....	37
① パンフレットの作成 .....	37
② ノベルティの作成 .....	37
③ 国際化ツールの作成 .....	37
④ LINE .....	38
<IV. その他> .....	39
(1) 双方向交流プログラム派遣 .....	39
(2) 双方向交流プログラム受入れ .....	39
(3) さくらサイエンス双方向交流派遣 .....	39
(4) マレーシアツイニングプログラム .....	40
(5) インフラ整備 .....	41
① 学生事故対策費用保険 .....	41
② 大学が企画する海外留学のための賠償責任保険 （施設賠償責任保険） .....	41
③ J-TAS 利用 .....	41
(6) 学外団体への加盟 .....	42
① JAFSA .....	42
② IAESTE .....	42
③ JCSOS .....	42
(7) 交流活動 .....	42
留学生といっしょ！東京理科大学キャンパスツアー .....	42
(8) 学内宿泊施設の管理・利用促進 .....	43
(9) ビザ取得支援 .....	43

## 国際化推進センター長挨拶

国際化推進センター長 渡部 和男

大学を取り巻く内外情勢が大きく変化する中で、「国際化」の推進は益々重要となってきました。

本学では、東京理科大学国際化推進戦略中期計画を策定し、「日本の理科大から世界の理科大へ」というビジョンを掲げ、以下の重点事項を優先的に実行に移してまいりました。

1. 学生の英語力の向上
2. 学生・教員の国際的視野の涵養
3. 各研究室で 1 名以上の外国人（大学院生、ポスドク）の受入れ

こうした中で、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に配慮しつつ、2015 年 4 月に設置された国際化推進機構会議及び国際化推進センター会議での討議を重ねながら、国際化を推進してまいりました。本報告書はその結果を取りまとめたものです。

本学の国際化戦略の客観的データとしてご覧いただき、忌憚のないご意見を当センターまでお寄せいただければ幸いです。

2020 年度の強化項目は次のとおりです

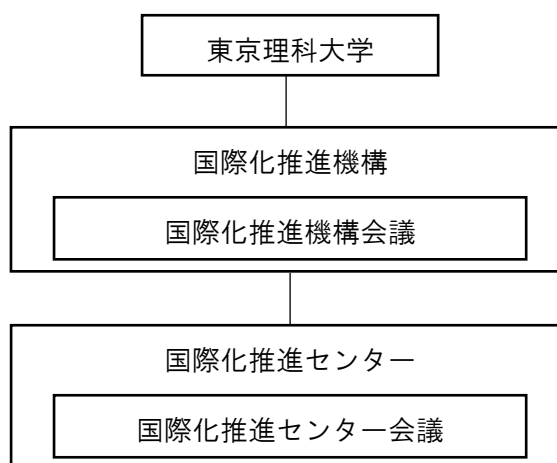
- ① コロナ禍での外国人留学生の受入拡大施策の企画・実施
- ② 留学生向けビザ取得支援
- ③ 海外留学における危機管理体制の強化 海外協定校データベースの構築・更新
- ④ 在外研究員制度の見直し
- ⑤ オンライン事業の実施・拡充
- ⑥ 教員向け実務英語研修制度の実施
- ⑦ インターナショナルラウンジの充実
- ⑧ 学内広報の充実

2019 年末以降、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大しましたが、このような状況は未だに続いており、国際化推進センターの業務にも大きな影響を及ぼしています。本センターとしては、今後とも徹底した安全管理のもとで活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

# 国際化推進機構・国際化推進センター概要

## 1. 組織

### (1) 組織図



### (2) 国際化推進機構

国際化推進機構は、本学における国際化推進施策及び戦略を企画立案するとともに、全学的な観点からグローバル人材の育成と、国際連携を推進し、本学の国際的地位の向上を図ることを目的に、2015年4月に設置された。本学の国際化を全学一体となって推進するため、2019年度から2021年度までの3年間に実施すべき国際化推進の方針、目標、具体的施策について、中期計画を策定している。

#### 【国際化推進機構会議】

国際化推進機構に、機構の運営に関する事項を審議するため、国際化推進機構会議（以下「機構会議」）を置く。機構会議は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 国際化推進方針及び国際化推進戦略の策定に関する事項
- ② 機構の事業計画に関する事項
- ③ センターの設置及び改廃に関する事項
- ④ 機構の人事に関する事項
- ⑤ 機構に関する諸規程等の制定及び改廃に関する事項
- ⑥ その他機構の管理・運営に関する事項

#### ▶機構構成員（2021年3月31日現在）

機構長 1名

若山 正人 東京理科大学 副学長

#### ▶機構会議委員 12名（2021年3月31日現在）

坂田 英明 理学部第一部 物理学科 理学部第一部学部長

佐々木 健夫	理学部第二部 化学科 理学部第二部学部長
近藤 行成	工学部 工業化学科 工学部長
河野 守	工学部 建築学科 工学部第二部学部長
宮崎 智	薬学部 生命創薬科学科 薬学部長
伊藤 浩行	理工学部 数学科 理工学部長
向後 保雄	基礎工学部 材料工学科 基礎工学部長
岸本 一男	経営学部 経営学科 経営学部長
北村 大介	研究推進機構 生命医科学研究所 研究科長
新井 健	理工学部 経営工学科 嘱託教授（非常勤扱）
渡部 和男	国際化推進センター長
柴崎 伸明	国際部 部長

### （3）国際化推進センター

国際化推進機構に国際化推進センター（以下「センター」）を置き、本学における国際化推進に係る諸施策を実施するとともに、学生及び教職員の国際活動を支援し、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的に、以下の活動を行う。

- ① 学生の海外派遣及び受入れに関する事
- ② 教職員の海外派遣及び受入れに関する事
- ③ 外国の大学等教育研究機関との国際交流協定に関する事
- ④ 学生の語学留学プログラムに関する事
- ⑤ その他本学の国際化推進に関する事

#### ▶センター構成員（2021年3月31日現在）

センター長 1名

渡部 和男 東京理科大学 特命教授

#### ▶センター会議委員 8名（2021年3月31日現在）

二国 徹郎 理学部第一部 物理学科 教授

趙 新為 理学部第二部 物理学科 教授

坂牛 卓 工学部 建築学科 教授

市原 学 薬学部 薬学科 教授

大宮 喜文 理工学部 建築学科 教授

伊丹 誠 基礎工学部 材料工学科 教授

朝日 弓末 経営学部 経営学科 教授

古賀 義人 研究推進機構 研究戦略・産学連携センター 専門員

## ▶事務局

国際部	部長	1名	柴崎伸明
	専門課長	1名	ナラヤン デベンドラ
国際部国際支援課	課長	1名	名當 麻衣
	職員	6名	阿潟濱 直人、倉本 学、寺西 陽子 橋本 菜穂子、増田 やよい、八木澤龍大
	派遣職員	2名	長南 暁美 村上 真紀

## (4) 予算（当初配分額）及び執行額

2020 年度 国際化推進機構（国際化推進センター）

予 算：117,516,000 円

執行額： 29,598,518 円（執行率 32%）

# 2020 年度事業報告



## I. 学生の国際化

### (1) 大学院生の国際会議発表促進

#### 大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

本学大学院博士後期課程学生が、海外で開催される国際学会等で研究発表することを推進し、学生が研究者として国際力をつけて、知見を広めることで、国際的に貢献できる人材を育成することを目的とする。派遣期間は、14 日以内（日本時間にて、出発日から帰国日までの換算）。

#### 【国際化推進センター負担経費】

航空賃：学校法人東京理科大学国外出張旅費支給基準に準じ、エコノミークラスの航空賃の実費を支給する。

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

#### 【2020 年度派遣実績】

合計 0 名 予算執行額：0 円

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

## (2)海外派遣学生の増員

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏季の短期語学研修プログラム、インターンシッププログラム、さくらサイエンス双方向交流プログラム及び研究を目的とした協定校等への派遣留学は中止した。

2020 年度の派遣学生数（カリフォルニア大学 1 年留学プログラム及び DMD 参加者）は 3 名に留まった。一方でオンライン留学（春季短期語学研修プログラム及び DMD）の参加学生数は 10 名となった（昨年の海外派遣学生数は 292 名）。

	プログラム名	派遣先国・地域	派遣先大学	2016	2017	2018	2019	2020		
				年度	年度	年度	年度	年度		
語学研修プログラム	夏季	オレゴンプログラム	米国	ポートランド大学	14	12	7	---	---	中止*
		サンフランシスコプログラム	米国	カリフォルニア大学デビス校	35	32	31	11	---	
		ロサンゼルスプログラム	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	---	---	10	9	---	
		マンチェスタープログラム	英国	マンチェスター大学	18	27	19	11	---	
		ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマーソン校	---	---	16	18	---	
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	29	18	22	---	---	
		トロントプログラム	カナダ	ヨーク大学	---	---	---	---	---	
		シドニープログラム	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	6	10	---	---	---	
		バンクーバー (CEEL) プログラム	カナダ	Canadian College of English Language	---	---	---	15	---	
		キングストン (ロンドン) プログラム	英国	キングストン大学	---	---	---	29	---	
	セブプログラム	フィリピン	SMEAG	16	---	---	17	---		
	春季	シドニープログラム	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	9	10	---	---	---	
		セブプログラム	フィリピン	SMEAG	---	---	---	15	---	
		マレーシアプログラム	マレーシア	アジアパシフィック大学	---	6	8	中止*	---	
		プリズベンプログラム	オーストラリア	クイーンズランド大学	---	---	6	6	---	
		ロサンゼルス	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	---	---	---	5	1**	
		バンクーバー (UBC) プログラム	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	---	---	---	9	1**	
		ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマーソン校	---	---	---	8	2**	
		ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	---	---	---	中止*	2**	
		ハワイプログラム	米国	ハワイ大学マノア校	---	---	---	---	3**	
小計				127	115	119	153	9		
インターンシップ (キャリアパス啓発) プログラム	シリコンバレー研修プログラム	米国		19	19	33	中止*	中止*		
小計			19	19	33	0	0			
協定校への派遣	カリフォルニア大学 1 年留学プログラム	米国	カリフォルニア大学デビス校	3	3	4	0	2		
	テキサス大学留学プログラム	米国	テキサス大学アーリントン校	---	---	---	---	---		
	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学への経営学生派遣	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	0	7	4	4	中止*		
	ハノーファー大学への経営学生派遣	ドイツ	ハノーファー大学	---	2	2	2	---		
	バンドン工科大学との DMD プログラム	インドネシア	バンドン工科大学	0	0	0	---	---		
	国立交通大学との DMD プログラム	台湾	国立交通大学	3	0	2	0	1		
	台北医学大学との DMD プログラム	台湾	台北医学大学	---	---	---	0	0		
	サスカチュワン大学との DMD プログラム	カナダ	サスカチュワン大学	---	---	---	---	1		
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月以上)			9	13	6	10	---		
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月未満)			---	---	---	---	---		
	双方短期留学プログラム (バンドン工科大学)	インドネシア	バンドン工科大学	---	---	---	---	中止*		
	双方短期留学プログラム (西安交通大学)	中国	西安交通大学	10	10	10	0	---		
	双方短期留学プログラム (昆明理工大学)	中国	昆明理工大学	---	---	---	0	---		
	双方短期留学プログラム (大連理工大学)	中国	大連理工大学	10	---	---	12	---		
小計			35	35	28	28	4			
協定校以外への派遣	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月以上)			2	4	5	6	---		
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣 (1ヶ月未満)			---	---	---	1	中止*		
	大学院博士後期課程学生国際学会派遣			---	20	43	42	---		
	トビタテ！留学ジャパンによる派遣 (外部機関)			7	5	9	7	---		
	IAESTE (イアエステ) による派遣 (外部機関)			2	1	---	---	---		
小計			11	30	57	56	0			
さくらサイエンス双方向交流	全南大学	韓国	全南大学	---	---	---	---	---		
	国立建設大学	ベトナム	国立建設大学	---	---	---	---	---		
	東北師範大学	中国	東北師範大学	5	---	---	---	---		
	浙江大学	中国	浙江大学	---	9	---	---	---		
	東南大学	中国	東南大学	---	---	---	---	---		
	ハノイ工科大学	ベトナム	ハノイ工科大学	7	---	---	7	---		
	ブネー大学	インド	ブネー大学	5	8	---	---	---		
	曲阜師範大学	中国	曲阜師範大学	---	5	---	0	中止*		
	インドネシアイスラム大学	インドネシア	インドネシアイスラム大学	---	6	---	8	---		
	シーナカリンウィロート大学・チュラロンコン大学	タイ	シーナカリンウィロート大学・チュラロンコン大学	---	7	---	9	---		
	チュラロンコン大学	タイ	チュラロンコン大学	---	---	---	12	---		
	チトカラ大学	インド	チトカラ大学	---	---	---	6	---		
	マラヤ大学	マレーシア	マラヤ大学	---	---	---	13	---		
	小計			17	35	0	55	0		
合計			209	234	237	292	13			

\* 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

\*\* 2020 年度については代替オンラインプログラムを実施。

## ① 協定校等への派遣学生事業

外国の大学等学術研究機関へ中長期の研究を目的として学生を派遣するプログラム。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意がある必要がある。派遣期間は1か月以上～1年間。DMD 学生の派遣費用補助も、当事業で行う。

	派遣先大学	本学との協定の有無	派遣先国	学部／研究科	学科／専攻	留学期間		日数
1	国立交通大学	有(DMD)	台湾	理工学研究科	経営工学専攻	2020/8/25	～ 2021/6/30	310
2	サスカチュワン大学	有(DMD)	カナダ	理学研究科	応用物理学専攻	2020/9/15	～ 2021/9/14	365

## 【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限 25 万円）を現物支給する。

日 当：1 日につき、1,000 円とし、18 万円を上限とする。

宿泊費：1 泊につき、1,500 円とし、27 万円を上限とする

（ただし、食費及び機中泊はこれに含まない）。

## 【2020 年度派遣実績】

合計 2 名 予算執行額：551,120 円

協定校への派遣 2 名

《内訳》 国立交通大学 1 名

サスカチュワン大学 ※ 1 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現状日本からオンラインで学修中のため、渡航費・日当・宿泊費の支出なし

協定校外への派遣 0 名

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、協定校等への研究目的の留学は中止し、DMD プログラム参加学生のみ派遣を実施した。

## ② 海外共同研究先への短期派遣学生事業

外国の大学等学術研究機関へ短期の研究を目的として学生を派遣するプログラム。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意があることが必要である。派遣期間は1週間以上～1か月未満。

### 【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限25万円）を現物支給する。

### 【2020年度派遣実績】

合計0名 予算執行額：0円

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

## ③ カリフォルニア大学1年留学プログラム

本学での修学4年間のうちの1年間、カリフォルニア大学デイビス校が実施する Global Study Program に参加する学部学生を対象とするプログラム。通常3月下旬に渡航し、春・夏学期は英語集中授業を受講し、秋・冬学期の履修要件を満たす場合は、秋・冬学期の2学期間、授業登録を許可された正規の科目を履修することができる。単位互換が可能な科目を履修すれば、取得した単位は本学の単位として認定する。

### 【国際化推進センター負担経費】

授業料等：留学期間中は本学に在籍し、休学扱いにしない。当該年度の本学授業料（授業料・施設設備費）は、国際化推進センターで負担する。

渡航費：成田/羽田⇄サンフランシスコの往復分は、国際化推進センターで負担する。

### 【2020年度派遣実績】

参加学科数：28学科

応募者数：2名

派遣者数：2名

予算執行額：3,190,650円

#### ④ ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラム。現在、国立陽明交通大学、台北医学大学及びサスカチュワソン大学と、ダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を締結し、学生の派遣を行っている。

##### 【国際化推進センター負担経費】

「協定校等への派遣学生事業」の制度を利用して次の経費を負担。

渡航費：日本発の往復航空券を現物支給する。

日 当：上限額の 18 万円を支給する。

宿泊費：上限額の 27 万円を支給する。

#### ㊦ 国立陽明交通大学（台湾）との DMD プログラム

理工学研究科経営工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 College of Management, Department of Industrial Engineering and Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（工学）経営工学専攻
- ・国立陽明交通大学修士（理学）経営工学専攻

##### 【2020 年度実績】

応募・派遣者数 1 名

#### ① 台北医学大学との DMD プログラム

基礎工学研究科材料工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（工学）
- ・台北医学大学修士（理学）

##### 【2020 年度実績】

応募・派遣者数 0 名

**㊦ サスカチュワン大学との DMD プログラム**

理学研究科応用物理学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（理学）
- ・サスカチュワン大学修士（理学）

**【2020 年度実績】**

応募・派遣者数 1 名

※2020 年度はサスカチュワン大学における派遣学生の全授業がオンラインとなったため、渡航や滞在に係る経費の支給はせず、本学納入分の授業料のみ国際化推進センターで負担。

## ⑤語学研修プログラム

夏期休暇期間又は学年度末の約 1 か月間、学生を海外へ派遣するプログラムであり、現地の英語での授業を体験して語学力を向上させるとともに、異文化生活を通じて広い視野と国際感覚を養うことを目的とする。本プログラムは、本学が企画し、旅行企画及び実施を業者へ委託している。参加費用は、受益者負担として全額参加学生負担である。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏季プログラムは中止とした。春季プログラムについては、当初 9 種類のプログラム（ロサンゼルス、ケンブリッジ、セブ、シアトル、ハワイ、バンクーバー（UBC）、ビクトリア、ブリスベン、マレーシア）の実施を予定していたが、派遣先機関での対面プログラムは全て中止となった。そのうち 5 つのプログラム（ロサンゼルス、ケンブリッジ、ハワイ、バンクーバー（UBC）、ビクトリア）については、オンラインプログラムが開講されたため、スプリング語学研修代替オンラインプログラムとして実施した。

### 学部/研究科別参加者数一覧

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度*
理学部第一部	16	15	16	29	1
理学部第二部	5	0	3	6	0
工学部	31	16	18	25	0
工学部第二部	1	0	0	0	0
薬学部	4	4	2	5	2
理工学部	33	37	25	36	5
基礎工学部	19	14	22	32	1
経営学部	15	25	32	17	0
理学研究科	1	0	0	1	0
工学研究科	0	1	0	0	0
理工学研究科	2	1	0	0	0
基礎工学研究科	0	0	0	1	0
公立諏訪東京理科大学	0	2	1	1	0
合計	127	115	119	153	9

\*サマー：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

スプリング：代替オンラインプログラム実施

## 2020 年度に実施した各プログラムの概要

## A. ロサンゼルスプログラム

派遣先国	アメリカ
派遣先機関	カリフォルニア大学アーバイン校
実施期間	春 2021 年 2 月 1 日 (月) ~ 2 月 26 日 (金) 26 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	1 名

## B. ケンブリッジプログラム

派遣先国	イギリス
派遣先機関	ケンブリッジ大学ホマートン校
実施期間	春①2021 年 2 月 1 日(月)~2 月 5 日(金) ②2021 年 2 月 22 日(月)~2 月 26 日(金) 5 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	2 名

## C. ハワイプログラム

派遣先国	アメリカ
派遣先機関	ハワイ大学マノア校
実施期間	春①2021 年 2 月 9 日(火)~2 月 27 日(土) ②2021 年 3 月 9 日(火)~3 月 27 日(土) 19 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	3 名

## D. バンクーバー (UBC) プログラム

派遣先国	カナダ
派遣先機関	ブリティッシュコロンビア大学
実施期間	春 2021 年 2 月 23 日(火)~3 月 19 日(金) 25 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	1 名

## E. ビクトリアプログラム

派遣先国	カナダ
派遣先機関	ビクトリア大学
実施期間	春 2021 年 2 月 23 日(火)~3 月 20 日(土) 26 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	2 名



## ⑥インターンシッププログラム

各年度末の1～2週間程度、シリコンバレー（アメリカ・カリフォルニア）近郊へ学生を派遣し、現地の企業・ベンチャーキャピタル訪問、起業家・研究者・本学同窓生とのディスカッション及び現地学生との交流を通じて、理工系人材のキャリアパスについて考えるプログラム。参加した学生には、レポートの提出を義務付け、目的意識の確立、経験の再認識ならびに定着を図っている。

企画運営業務は、本学卒業生が代表を務める会社に委託している。業務委託費を除き、参加費用は全額参加学生負担。

2019年度は、3月4日～3月12日の日程で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プログラムの実施を中止した（参加予定者数：24名）。

2020年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プログラムの実施は中止としたが、プログラムの趣旨である「キャリアパスを考える」一助とすることを目的とし、研修の一部分を模擬体験してもらう「シリコンバレー研修体験 Webinar」を開催した（参加者数：42名）。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度*	2020年度*
理学部第一部	5	2	2	--	--
理学部第二部	1	1	0	--	--
工学部	2	1	8	--	--
工学部第二部	1	0	0	--	--
薬学部	0	1	4	--	--
理工学部	4	2	9	--	--
基礎工学部	2	3	1	--	--
経営学部	3	7	7	--	--
理学研究科	0	0	1	--	--
理工学研究科	1	0	0	--	--
イノベーション研究科	0	1	0	--	--
諏訪東京理科大学	0	1	1	--	--
合計	19	19	33	--	--

\* 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

### (3)外国人留学生の増員

#### 外国人留学生獲得施策

2020年4月～10月にかけて、日本語学校・予備校等での説明会や日本留学フェアに国際支援課員が参加し、大学説明及び入試広報を行った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんどの施策をオンラインで実施した。

新たな取り組みとして、「オンライン大学説明会（本学主催）」、「オンライン個別相談会（オンラインオープンキャンパス）」及び「本学留学生とのオンライン個別相談会（オンラインオープンキャンパス）」を実施した。

#### 【2020年度実績】

志願者数：566名（Ⅰ期185名、Ⅱ期381名）

予算執行額：8,502,208円

#### 【2020年度実施施策】

- ・国内の日本語学校・予備校・専門学校での説明会  
オンライン：18回・432名  
ブース（対面）：4回・30名
- ・国外の日本語学校・予備校での説明会  
オンライン：3回・58名
- ・進学フェア  
オンライン：3回・122名
- ・教員向け説明会  
オンライン：1回・15名
- ・オンライン大学説明会（本学主催）  
1回・94名
- ・オンライン個別相談会（オンラインオープンキャンパス）  
5回・21名
- ・本学留学生とのオンライン個別相談会（オンラインオープンキャンパス）  
2回・12名

## 【2020 年度実施説明会等一覧】

No	日にち	時間	所在地	訪問先・ガイダンス名	種別	形式	訪問実績	2021年度入試
								接触者数
1	2020年6月4日 (木)	13:00-14:30	京都	関西語言学院	日本語学校	オンライン	○	22
2	2020年6月11日 (木)	10:00-12:00	東京	東京言語教育学院	日本語学校	オンライン	○	19
3	2020年6月11日 (木)	13:00-15:00	東京	大学院進学相談会@浅草橋	フェア	オンライン		48
4	2020年6月12日 (金)	11:45-14:00	東京	早稲田文化館日本語学科	日本語学校	オンライン	○	40
5	2020年7月8日 (水)	10:00-12:10	京都	関西語言学院②	日本語学校	オンライン	○	16
6	2020年7月13日 (月)	10:00-17:00	東京	アクセス日本留学フェア@渋谷ヒカリエ	フェア	オンライン	○	24
	2020年7月14日 (火)	10:15-17:00						22
	2020年7月15日 (水)	10:15-17:00						26
7	2020年7月20日 (月)	12:00-14:00	東京	KCP地球市民日本語学校	日本語学校	ブース	○	9
8	2020年7月21日 (火)	12:15-14:15	東京	東京ギャラクシー日本語学校	日本語学校	ブース	○	10
9	2020年7月22日 (水)	10:00-16:00	東京	ARC東京日本語学校	日本語学校	オンライン	○	22
10	2020年7月22日 (水)	12:50-14:00	東京	東京中央日本語学院	日本語学校	ブース	○	7
11	2020年7月23日 (木)	15:30-17:30	東京	名校志向塾 東京校	予備校	オンライン	○	78
12	2020年7月27日 (月)	11:00-14:00	東京	東京早稲田外国語学校 本校	日本語学校	オンライン	○	11
13	2020年7月29日 (水)	11:00-12:00	東京	フジ国際語学院	日本語学校	オンライン	○	38
14	2020年7月29日 (水)	19:00-21:00	韓国	日工学院 ソウル	予備校	オンライン	○	21
15	2020年7月30日 (木)	10:00-16:00	東京	東京理科大学オンライン説明会	大学主催	オンライン		94
16	2020年7月31日 (金)	11:30-13:30	東京	長沼スクール東京日本語学校	日本語学校	オンライン	○	17
17	2020年8月6日 (木)	17:00-18:30	韓国	時事日本語学校 江南キャンパス	日本語学校	オンライン	○	20
18	2020年8月7日 (金)	11:00-14:00	東京	国書日本語学校 志村校舎	日本語学校	オンライン	○	22
19	2020年8月7日 (金)	17:00-18:30	韓国	時事日本語学校 鐘路キャンパス	日本語学校	オンライン	○	17
20	2020年8月24日 (月)	10:00-16:00	東京	東京理科大学オンライン個別相談会	大学主催	オンライン		5
21	2020年8月25日 (火)	10:00-16:00	東京					7
22	2020年8月26日 (水)	10:00-16:00	東京					1
23	2020年8月27日 (木)	10:00-16:00	東京					3
24	2020年8月28日 (金)	10:00-16:00	東京					5
25	2020年8月25日 (火)	10:30-13:30	東京	ミッドリウム日本語学校	日本語学校	ブース		4
26	2020年8月26日 (水)	10:00-16:00	東京	東京理科大学留学生とのオンライン個別相談会	大学主催	オンライン		6
27	2020年8月27日 (木)	10:00-16:00	東京					6
28	2020年8月26日 (水)	14:00-15:30	東京	京進ランゲージアカデミー 新宿校	日本語学校	オンライン		12
29	2020年8月27日 (木)	15:45-17:00	東京	JET日本語学校	日本語学校	オンライン		9
30	2020年8月28日 (金)	10:00-14:00	東京	東京ワールド日本語学校	日本語学校	オンライン		10
31	2020年8月28日 (金)	17:00-19:00	東京	行知学園 新宿校	予備校	オンライン	○	29
32	2020年8月31日 (月)	15:30-16:30	東京	早稲田国際ビジネスカレッジ	専門学校	オンライン	○	22
33	2020年9月2日 (水)	13:10-14:10	東京	日本健康医療専門学校 ライフデザイン学科	専門学校	オンライン	○	30
34	2020年9月10日 (木)	10:00-14:40	東京	エリート日本語学校	日本語学校	オンライン	○	3
35	2020年9月17日 (木)	13:40-18:00	東京	日本留学AWARDS2020	フェア	オンライン	○	3
	2020年9月18日 (木)	13:40-18:00						10
	2020年9月19日 (木)	13:40-18:00						2
36	2020年9月25日 (金)	14:00-15:00	東京	格致学苑	予備校	オンライン		32
37	2020年10月21日 (水)	10:00-15:00	東京	オンラインで実施 語学留学生フェア2020	フェア	オンライン		2
合計								784

## Ⅱ. 教員の国際化

### (1) 在外研究員派遣の推進

#### 在外研究員派遣事業

東京理科大学の専任教員を海外に一定期間派遣し、専門分野に関する研究に専念させる機会を与え、教員の教育及び研究能力を向上させるとともに、当該事業での経験を活かし、外国語による専門科目の講義・研究指導が行えるような教員を養成すること、及び派遣先大学等学術研究機関と将来にわたり共同研究を遂行するための基盤を構築することを目的としている。

#### 【国際化推進センター負担経費】

渡航費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：月額 10 万円または 14 万円

※派遣先地域によって支給額が異なる

#### 【2020 年度実績】

採択 10 名

実施 1 名 予算執行額：885,780 円

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、9 名は派遣を中止した。

申請 No.	学部	学科	職名	受入研究機関	国名	出発日	帰国日	派遣日数
1	理学部第一部	教養学科	准教授	Uppsala universitet	スウェーデン	—	—	中止
2	理工学部	情報科学科	講師	Purdue University	米国	—	—	中止
3	理学部第一部	応用数学科	准教授	Universita della Calabria	イタリア	—	—	中止
4	薬学部	薬学科	嘱託助教	Strasbourg University	フランス	—	—	中止
5	工学部	情報工学科	准教授	Vlerick Business School	ベルギー	—	—	中止
6	理学部第一部	応用物理学科	准教授	Technische Universität Dortmund	ドイツ	—	—	中止
7	理工学部	応用生物科学科	講師	Universita of Adelaide, Department of Chemistry, School of Physical Sciences	オーストラリア	—	—	中止
8	工学部	教養	准教授	Northeastern Illinois University(NEIU)	米国	—	—	中止
9	工学部	建築学科	教授	Lehigh University	米国	—	—	中止
10	経営学部	ビジネスエコンミクス学科	教授	山東建築大学	中国	2020年10月21日	2021年4月11日	173

## (2)若手研究者国際学会派遣の推進

### 若手研究者国際学会派遣事業

海外で開催される国際学会で研究発表する若手研究者に旅費を支給することにより、国際人脈を構築する等、若手研究者がキャリアの早期段階から国際的に活躍することを推進するため、本事業を実施する。

#### 【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

#### 【2020 年度実績】

採択 9 名

実施 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、採択者全員の派遣を中止した。

	学部/ 研究科	学科/専攻	職名	国際学会名称	開催国	開催都市	講演の種類	出発日	帰国日	派遣 日数
1	工	機械工学科	嘱託助教	23rd International Symposium on Surfactants in Solution	ポーランド	ルブリン	口頭発表	2020年6月24日	2020年7月3日	10
2	工	工業化学科	嘱託助教	17th INTERNATIONAL CONGRESS ON CATALYSIS 2020 VISION	米国	サンディエゴ	口頭発表	2020年6月12日	2020年6月22日	11
3	理一	数学科	嘱託助教	XXXIX Workshop on Geometric Methods in Physics IX school on Geometry and Physics	ポーランド	ビャウォビエジャ	未定	2020年6月21日	2020年7月6日	16
4	理一	数学科	嘱託助教	The 13th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications	米国	アトランタ	招待講演	2020年6月4日	2020年6月11日	8
5	基礎工	生物工学科	嘱託助教	Immunology 2020	米国	ハワイ	ポスター発表	2020年5月8日	2020年5月13日	6
6	工	機械工学科	嘱託助教	Nordtrib 2020	ノルウェー	ガイランゲル	未定	2020年6月3日	2020年6月13日	11
7	工	教養	講師	13th Workshop on Analysis and Advanced Numerical Methods For Partial Differential Equations	ギリシャ	ピツイディア	口頭発表	2020年9月28日	2020年10月2日	5
8	工	機械工学科	嘱託助教	19th international conference on fracture and damage mechanics	スペイン	マヨルカ	口頭発表	2020年9月14日	2020年9月17日	4
9	工	電気工学科	嘱託講師	The 28th European Signal Processing Conference (EUSIPCO 2020)	オランダ	アムステルダム	未定	2021年1月17日	2021年1月24日	8

## (3)外国人教員の増員

## 外国人教員の雇用状況

【2020 年度実績】

42 名 / (2019 年度実績 38 名)

本学専任教員数 (職名別)

2020 年 5 月 1 日現在

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数														
		教授			准教授			講師			助教			計		
		内数		外国人 教員	内数		外国人 教員	内数		外国人 教員	内数		外国人 教員	内数		外国人 教員
		女性 教員	外国人 教員		女性 教員	外国人 教員		女性 教員	外国人 教員		女性 教員	外国人 教員		女性 教員	外国人 教員	
理学部 第一部	教養学科	14	4		7	2	5	3	2	2			28	7	4	
	数学科	10	1		0		2	1		8	1		20	3	0	
	物理学科	9	1	1	3	1	2			6	1		20	2	2	
	化学科	8			3		0			8			19	0	0	
	応用数学科	8	1		3		2	1	1	6	2		19	4	1	
	応用物理学科	7			5		3			5			20	0	0	
	応用化学科	7			3		1			8			19	0	0	
理学部第一部 計		63	7	1	24	0	3	15	5	3	43	4	0	145	16	7
理学部 第二部	教養	3	1		2		1	1		2	1		8	3	0	
	数学科	3	1		3		2			3			11	1	0	
	物理学科	5		1	1		1			3	1	1	10	1	2	
	化学科	3			1		4	1		3			11	1	0	
理学部第二部 計		14	2	1	7	0	0	8	2	0	11	2	1	40	6	2
薬学部	薬学科(6年制)	18	5		7		7	3		8	1	1	40	9	1	
	生命創薬科学科	9			2		1			9	2		21	2	0	
薬学部 計		27	5	0	9	0	0	8	3	0	17	3	1	61	11	1
工学部	教養	6	2	2	5	1	1			0			12	2	3	
	建築学科	11	2		2		2	2		8	1	2	23	5	2	

工学部	工業化学科	6	1		4			1			6	1	1	17	2	1
	電気工学科	10			4			1			7	1	2	22	1	2
	情報工学科	9	2		4			1			8	1	1	22	3	1
	機械工学科	6			4			2			6			18	0	0
工学部 計		48	7	2	23	0	1	8	2	0	35	4	6	114	13	9
工学部 第二部	建築学科	1			0			0			0			1	0	0
	工学部第二部 計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
理工学 部	教養	10	3		14		1	5	2	1	1		1	30	5	3
	数学科	7	3		6			3			4			20	3	0
	物理学科	11			3			0			8	1		22	1	0
	情報科学科	5	2		4			3			4	1		16	3	0
	応用生物科学 科	5	1		5			3			5			18	1	0
	建築学科	8	1		2			2			8	3	3	20	4	3
	先端化学科	7			5			3			5	1		20	1	0
	電気電子情報 工学科	11			5	1		1			8	1	2	25	2	2
	経営工学科	7	2	1	2			4	2	1	4	2		17	6	2
	機械工学科	9			3			2			5			19	0	0
	土木工学科	10			1			1			6	2	1	18	2	1
理工学部 計		90	12	1	50	1	1	27	4	2	58	11	7	225	28	11
基礎工 学部	教養	7	2		7		1	5	3	1	0			19	5	2
	電子応用工学 科	9			3			1			3			16	0	0
	材料工学科	9			3			1			7	1		20	1	0
	生物工学科	8	2		4			2			5	1		19	3	0
基礎工学部 計		33	4	0	17	0	1	9	3	1	15	2	0	74	9	2
経営学 部	経営学科	8	3		4			5	3	1	3	1	1	20	7	2
	ビジネスエコン クス学科	6		1	3			2			3	1		14	1	1
経営学部 計		14	3	1	7	0	0	7	3	1	6	2	1	34	8	3
理学研 究科	科学教育専攻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

理学研究科 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
理工学 研究科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
国際火災科学 専攻																
理工学研究科 計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
経営学 研究科	11	2	1	0			1			0			12	2	1	
技術経営専攻(専 門職学位)																
経営学研究科 計	11	2	1	0			1			0			12	2	1	
教育支援機構	4	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	
研究推進機構総合研究 院	8	1	0	1	0	0	5	1	0	9	1	4	23	3	4	
研究推進機構生命医科 学研究所	7	1	0	3	0	0	5	0	0	9	1	2	24	2	2	
その他	32	5	1	9	0	0	11	1	0	18	2	6	70	8	7	
大学全体 合計	322	45	7	146	1	6	9	3	23	7	3	30	22	764	99	42

※原則として学部の専任教員は研究科の専任教員を兼担しており、その数は研究科の専任教員数に含めない。



## (4) その他

### ① 協定校への研究者派遣

協定校の教員と本学教員の共同研究の推進及び交流に関する打合せ等を目的として、派遣研究者を募集する。

#### 【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

日 当：派遣先地域によって支給額が異なる。

宿泊費：派遣先地域によって支給額が異なる。

※ 派遣先機関から旅費が支給される場合は、重複する費目は支給しない。

#### 【2020 年度実績】

0 名

※ 2020 年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣者なし。

### ② 教員向け実務英語研修「Academic English Brush-up Seminar」

教員の英語プレゼンテーションや英語を用いた講座運営に必要な技術の向上を目的として、FD セミナーを、教育開発センターと共催した。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面ではなくオンラインで開催した。

#### ▶ 第 1 回セミナー：『大学の授業を英語で教える！』教室英語実践講座

開催日時：2020 年 9 月 12 日（土）

参加者：16 名

講師：株式会社アルク Bence Tamas 氏

予算執行額：200,000 円

#### ▶ 第 2 回セミナー：Academic English Brush-up Seminar

開催日時：2021 年 3 月 1 日（月）

参加者：12 名

講師：一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院講師 Joe Hug 氏

予算執行額：111,360 円

### Ⅲ. 教育研究環境の国際化

#### (1) 研究室の国際化の推進

##### ① 外国人招へい教員事業

優れた外国人教員との研究交流の推進とともに本学の英語による授業導入の促進を目的として、外国の学界で活躍する優れた外国人教員等を本学に一定期間招へいする。

##### 【国際化推進センター予算による支給経費】

航空費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費： 教授：日額 12,000 円

准教授及び講師、研究者：日額 10,000 円

##### 【2020 年度実績】

0 名

※ 2020 年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、招へい者なし。

##### ② 協定校からの研究者受入れ事業

協定校との交流の促進を目的として、協定に基づく研究者交流を行う。

##### 【国際化推進センター予算による支給経費】

協定に定められた費目（日当、宿泊費、渡航費）を支給する。

##### 【2020 年度実績】

0 名

## ③協定校等からの学生受入れ事業

教育研究環境の国際化を目的として、外国の大学等学術研究機関から、研究目的の学生を1か月～1年間、本学の研究室で受け入れる制度。協定校からの受入れの場合は、授業料等を不徴収（国際化推進センター負担）とする。

## 【2020 年度実績】

2019 年度受入れ開始の学生 4 名

2020 年度受入れ開始の学生 2 名

予算執行額：2,068,333 円

		受入れ 研究科/学部	受入れ 専攻/学科	受入れ学生の 所属大学	課程	国籍	受入れ 開始日	受入れ 終了日	受入れ 日数
2019年度 受入開始	1	理工学研究科	電気工学専攻	カイロ大学	博士課程	エジプト	2019/5/1	2020/4/26	362
	2	理工学研究科	建築学専攻	リール建築大学	修士課程	フランス	2019/9/24	2020/7/31	312
	3	理工学研究科	建築学専攻	パリ・ベルヴェイル 建築大学	修士課程	フランス	2019/9/17	2020/6/30	288
	4	経営学研究科	経営学専攻	チェンマイ大学	修士課程	タイ	2020/1/7	2020/5/7	122
2020年度受 入開始	1	理工学研究科	建築学専攻	リール建築大学	修士課程	フランス	2020/4/6	2020/12/24	263
	2	理工学研究科	建築学専攻	リール建築大学	修士課程	フランス	2020/4/6	2020/12/21	260

#### ④ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラム。現在、国立陽明交通大学、台北医学大学及びサスカチュワン大学と、ダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を締結し、学生の受入れを行っている。

##### A. 国立陽明交通大学 DMD

理工学研究科経営工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 College of Management, Department of Industrial Engineering and Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（工学）経営工学専攻
- ・国立陽明交通大学修士（理学）経営工学専攻

##### 【2020 年度実績】

受入者数 1名 予算執行額 785,000 円

##### B. 台北医学大学 DMD

基礎工学研究科材料工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（工学）
- ・台北医学大学修士（理学）

##### 【2020 年度実績】

受入者数 0名

##### C. サスカチュワン大学 DMD

理学研究科応用物理学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

- ・東京理科大学修士（理学）
- ・サスカチュワン大学修士（理学）

##### 【2020 年度実績】

受入者数 0名

## ⑤国費外国人留学生制度

文部科学省による国費外国人留学生制度において、本学では次の通りの受入れ形態がある。

### A. 大使館推薦

在外公館が主体となり、海外に在住する者を現地における選考試験の結果に基づき推薦する制度。

### B. 大学推薦（一般枠・特別枠）

大学が主に大学間交流協定等を締結する海外の大学と協力して海外に在住する者を新規渡日者として推薦する制度。

一般枠は、例年学内公募制となっており、要件を満たす留学生を国際化推進センター委員が選考し、本学から推薦している。

特別枠は、本学の理工学研究科国際火災科学専攻が 2018 年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されており、年度毎に優先配置枠数 5 名を獲得している。優先配置期間は 2019 年度新規渡日分から 3 年間である。

給付金額 月額 143,000 円（研究生等）

月額 144,000 円（修士課程及び専門職学位課程）

月額 145,000 円（博士課程）

（特定の地域において就学・研究する者に対し、月額 2,000 円または 3,000 円を月額単価に加算。なお、予算の状況により各年度で金額は変更される場合がある）

※採用形態により授業料等が日本政府より支給される。

給付期間 奨学金支給期間は、渡日後に在籍するそれぞれの課程によって異なる。

大学院修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する場合、標準修業年限とする。

また、研究生等から大学院の正規課程等に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨金支給期間が延長されることがある。

### 2020 年度 国費外国人留学生数 内訳

大使館推薦による国費外国人留学生	5 名
大学推薦による国費外国人留学生（一般枠）	5 名
大学推薦による国費外国人留学生（特別枠）	12 名
合 計	22 名

## ⑥IAESTE による海外学生受入れ

IAESTE (The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience) が仲介を行う、理工農薬学系国際インターンシップ。日本では一般社団法人日本国際学生技術研修協会が事務局を務め、欧米を中心に研修生を受け入れている。

### 【国際化推進センター負担経費】

滞 在 費：30,000 円/週

宿泊手数料：12,000 円/回

### 【2020 年度実績】

依頼 7 件

実施 0 件

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依頼のあった希望者全員の受入れを中止した。

	学部・研究科	学科・専攻	国籍	受入開始日	受入終了日	受入日数
1	薬学部	生命創薬科学科	イギリス	2020/7/13	2020/8/28	47
2	薬学部	生命創薬科学科	アイルランド	2020/6/1	2020/8/21	82
3	基礎工学部	材料工学科	アイルランド	2020/6/29	2020/9/4	68
4	基礎工学研究科	生物工学専攻	マケドニア	2020/7/13	2020/9/18	68
5	工学研究科	機械工学専攻	ポルトガル	2020/8/24	2020/11/13	82
6	工学部	工業化学科	ポーランド	2020/7/6	2020/8/28	54
7	理学部第一部	応用物理学科	香港	2020/7/6	2020/8/28	54

## ⑦科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」

本事業は、産学官の緊密な連携により、アジアを中心とする国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供することを通して、科学技術イノベーションに貢献しうる海外からの優秀な人材との継続的な研究等の交流を促進することを目的とする。

### 【交流形態】（大学対象）

#### ▶A コース「科学技術体験コース」

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生等との交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進する。

#### ▶B コース「共同研究活動コース」

国際共同研究のテーマや計画の策定、予備的な実験など共同研究を開始する、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とする。

#### ▶C コース「科学技術研修コース」

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得の機会を提供する活動を対象とする。

なお、2020年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実際の招へいに替えて各機関の国際化や交流の継続を促進することを目的として、オンラインによる交流支援が行われた。

#### ◆オンライン交流コース

採択された交流計画について、実招へいの補完として、オンラインで交流の継続を図ろうとするもの。

#### ◆オンライン交流（フォローアップ支援）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により諸外国との往来制限が長期化する中、現況下での交流の継続を後押しするため、2019 年度までに実施された交流を加速、深化させるオンライン交流を実施するもの。

過去に実施した基となる 交流計画のコース	オンライン交流（フォローアップ支援）で想定される内容
科学技術体験コース（A コース）	単なるビデオ映像の紹介だけでなく、新たな機関、研究者・学生との双方向交流が含まれるもの
共同研究活動コース（B コース）	研究の新たな展開や発展が認められるもの
科学技術研修コース（C コース）	研修内容の拡充が認められるもの

## 【2020 年度実績】

実施件数：1 件

(本年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通常実施は中止、年度途中でオンラインでの開催案内があり、本学からは 1 件の実施があった。)

支援金総額：10,737,004 円

## 【2020 年度採択一覧】

	実施部局	受入大学	国名	人数	受入日数	コース	直接経費	一般管理費	合計
1	総合研究院 光触媒研究推進拠点	ブネー大学	インド	6	16	B	2,518,248	251,824	2,770,072
2	理学部第二部 物理学科	ヤンゴン大学	ミャンマー	6	10	B	1,822,700	182,270	2,004,970
3	理学研究科 物理学専攻	広西大学、浙江大学、天津科学大学	中国	12	7	A	2,698,823	269,882	2,968,705
4	総合研究院 光触媒研究推進拠点	東南大学	中国	5	20	B	1,956,505	195,650	2,152,155
5	火災科学研究所 (理工学研究科)	マラヤ大学、チュラロンコン大学、ハ ノイ建設大学、湖西大学校、中央警察 大学校	マレーシ ア、タイ、 ベトナム、 韓国、台湾	15	10	C	764,639	76,463	841,102



## (2)世界を身近にする環境整備

### ①インターナショナルラウンジ

インターナショナルラウンジは、「世界の入り口はインターナショナルラウンジ」をコンセプトに、多様な価値観を共有する場の提供及び学生の英語学習や海外留学への動機付けを行うことを目的とした施設である。

例年、各キャンパス所定の曜日・時間にネイティブスピーカーの講師を派遣し、気軽に英語を話せる環境を整えるほか、英語学習や留学・国際交流に関する各種イベントやセミナーを開催している。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期は閉室とし、後期からは全てオンラインに切り替えて開室したところ、これが好評だったことから、春休みに追加開室を実施した。

2020年度は前年度よりも開室期間が大幅に短くなったが、3キャンパス合計で3,132名参加した。イベント・セミナーは全19回実施し、前述の利用者のうち262名が参加した。

#### 【2020年度インターナショナルラウンジ利用状況】

(単位：名)

	前期 (全面閉室)※	後期 (オンライン)	春休み 追加開室	イベント・ セミナー	総計
利用者数	0	1,835	1,035	262	3,132

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年度前期は全面閉室とした。

※ 昨年度までは対面での開室だったため日毎の延べ数で集計していたが、今年度はオンラインで実施したため、コマ毎の延べ数にて集計した。

#### (1) ネイティブ英会話講師派遣

■ 前期：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、完全閉室とした。

■ 後期：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ZOOMを利用したオンライン開室を行い、施設は閉室とした。

時 間：平日 10:30～14:30 (4時間) 合計 70日間 ※利用は40分毎のコマ単位とした。

経 費：国際化推進センター予算 1日3時間×70日分相当を支出 (2,778,400円)

こうよう会国際化対応助成金 1日1時間×70日分相当を支出 (900,000円)

合計 3,678,400円

■ 春休み追加開室：後期に実施したオンライン開室が好評だったことから、初めての試みとして、春休み期間中に追加で開室を行った。

時 間：平日 13:00～17:00 (4時間) 合計 24日間 ※利用は40分毎のコマ単位とした。

経 費：国際化推進センター予算 124,486円

こうよう会国際化対応助成金 1,142,714円 合計 1,267,200円

## (2) イベント・セミナー開催

開催数 全 19 回

参加者数 前期 0 名、後期 262 名 合計 262 名

前期：対面でのイベントを企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全て中止した。

後期：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てオンラインにて実施した。

## ■国際ラウンジセミナー

本学父母会である「こうよう会」の国際化対応助成金により、次の通り実施した。合計 2,453,820 円

NO	講座名	開催日	参加者数
1	留学英語講座 1&異文化コミュニケーション 1	10 月 12 日 (月)	5
2	TOEFL 講座 1～初めての TOEFL 受検に向けて～	10 月 20 日 (火)	14
3	TOEIC 講座 1～目指せ 600 点突破～	11 月 4 日 (水)	9
4	技術英語講座 1 (初級編) ～技術英語の 3C とは～	11 月 9 日 (月)	20
		11 月 16 日 (月)	15
5	プレゼンテーション英語講座 1～基本編～	12 月 4 日 (金)	10
6	ビジネス英語講座	12 月 19 日 (土)	7
7	留学英語講座 2&異文化コミュニケーション 2	1 月 13 日 (水)	6
8	プレゼンテーション英語講座 2～学会発表編～	1 月 23 日 (土)	8
9	技術英語講座 2 (中級編) ～3C で誤解や無駄をなくす～	2 月 2 日 (火)	19
		2 月 9 日 (火)	15
10	TOEIC 講座 2～目指せ 800 点突破～	2 月 25 日 (木)	5
11	TOEFL 講座 2～目指せ B1・B2 レベル～	3 月 2 日 (火)	8
12	技術英語講座 3 (実践編) ～3C で文章を作成しよう～	3 月 10 日 (水)	18
		3 月 17 日 (水)	16
13	ビジネス英語講座 (追加分)	2 月 27 日 (土)	6
14	技術系英文レポートの書き方－基礎編－ (追加分)	3 月 3 日 (水)	28

## ■その他セミナー・イベント

1, 2 は経費支出なし。3, 4, 5 は「こうよう会」国際化対応助成金により実施した。合計 45,366 円

NO	講座名	開催日	参加者数
1	超初心者のための英会話入門クラス	10～12 月各月 1 回	※
2	BOSCH 外国人インターン学生との交流会	11 月 24 日 (火)	30
3	理科大 OB 講演会	11 月 27 日 (金)	7
4	理科大 OB 講演会	12 月 17 日 (木)	9
5	理科大 OB 講演会	12 月 20 日 (日)	7

※2020 年度国際ラウンジ利用状況の実績に含める

(3) その他備品購入等 合計 348,388 円 (書籍費含む)

## ②英語研修プログラム（英語村）

国際化推進センターでは、グローバル人材を育成するための施策の一環として、各年度において国内での短期英語合宿を企画・実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来の合宿形式からオンラインによる研修形式に変更した。

こうよう会国際化対応助成金の支援のもと、英語でのディスカッションやプレゼンテーションをメインとした内容で、オンラインによる「英語研修プログラム（英語村）」を企画し、学生の募集を行った結果、定員 32 名を超える 40 名の参加申込みがあった。

英語村研修プログラム終了後に参加学生を対象にアンケートを行ったところ、総じて評価は高く、学生にとって満足度の高いプログラムとなった。

### 【2020 年度実績】

日 程：事前研修 2021 年 2 月 17 日（水）、本研修 2021 年 3 月 9 日（火）～12 日（金）

場 所：事前研修、本研修ともにオンライン

内 容：（1）事前研修：レベルチェックを含む自己紹介等

（2）本研修：講座 1 日 6 時間＋オンラインランチ各日 30 分間

6 つのアクティビティを通し総合英語コミュニケーションスキルを体得。

（1・レクチャー／2・ミッション／3・ディスカッション／4・ゲーム

5・ショウアンドテル／6・ランチ）

また、最終日には個人でプレゼンテーションを行う機会を設けた。

対象レベル：おおむね TOEIC500 点以上（英検準 2 級程度以上）

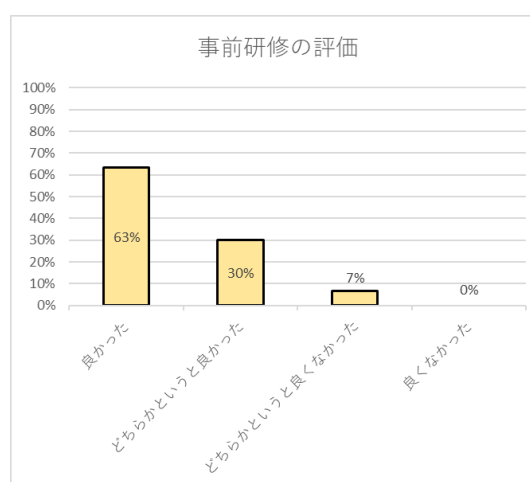
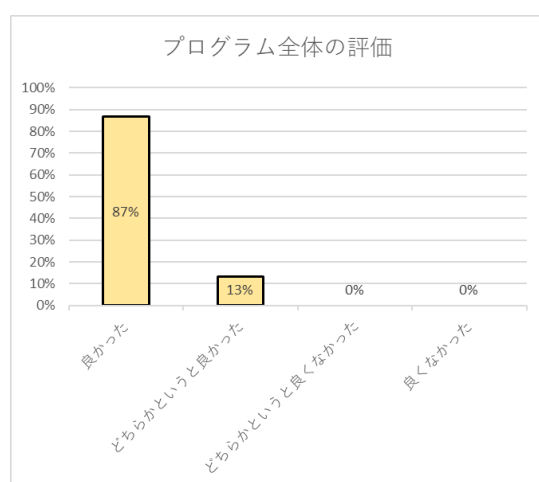
申込者：一般学生 40 名、留学生 4 名

参加者：一般学生 33 名、留学生 4 名（一般学生 7 名が辞退）

講座実施：株式会社エデュコ（ジェイムズ英会話）

予算執行額：958,100 円（こうよう会国際化対応助成金より支出）

### 【参考】アンケート結果（抜粋）



## ③海外協定校

2021年3月31日現在、29 개국・地域の 79 大学 3 機関と協定を締結しており、教職員及び学生の交流、共同研究、情報及び刊行物の交換等を行っている。

2020 年度の新規協定校（2021 年 3 月 31 日まで）は次の 5 校である。

1. 台北科技大学
2. 湘潭大学
3. メイヌース大学
4. 釜山大学
5. ナンシー建築大学

## 【国・地域別協定校数】

(国・地域名はあいうえお順)

地域	国名	協定	地域	国名	協定
アジア	インド	3	欧州	英国	2
	インドネシア	2		フランス	7
	韓国	7		ブルガリア	1
	タイ	4		ポーランド	1
	台湾	4		ポルトガル	1
	中国	16		モルドバ共和国	1
	ベトナム	1		リトアニア共和国	1
	マレーシア	2		ルーマニア	3
	計	39		ロシア	1
欧州	アイルランド	1		計	34
	イタリア	1	中南米	ドミニカ共和国	1
	オーストリア	2		ブラジル	1
	カザフスタン	1		計	2
	スペイン	3	北米	カナダ	2
	スロベニア	1		米国	5
	ドイツ	6		計	7
	フィンランド	1	<b>総計</b>	<b>82</b>	

### (3) 国際広報の充実

#### ①パンフレットの作成

留学・国際交流パンフレット

国際化推進センターで実施している海外留学プログラムの学内広報を目的に作成し、学生の父母、新入生、留学説明会参加者及び希望する学生等へ配布を行った。

予算執行額：565,125 円

#### ②ノベルティの作成

海外出張及び海外からの表敬訪問の際に渡す記念品を次のとおり作成した（大学ロゴ等印刷）。

【2020 年度実績】

マウスパッド：10 枚

3 種ボールペン：20 組

回転式ボールペン：100 本

メモボックス：25 個

ステンレスコースター：5 セット

マウスパッド・ボールペンセット：5 セット

名刺入：20 個

予算執行額：500,000 円

#### ③国際化ツールの作成

##### ㊦ グリーティングカード

クリスマスや正月のタイミングで海外協定校等に送付するグリーティングカードのテンプレートを作成した。

予算執行額：550,000 円

##### ㊦ ポスターフォーマット

インターナショナルラウンジで使用するイベント等で使用できるポスターのフォーマットを作成した。今後高頻度で開催されるイベントの募集ポスターとして使用する。

予算執行額：449,900 円

④LINE

学内広報強化の一環として、2018年6月より、それまでのメーリングリストによる情報配信に代わりに、日本国内で非常に高い普及率を誇るLINEによる情報配信へ切り替えた。

2021年3月末現在で友達数（登録者数）は909名。

年会費：99,000円

## IV. その他

### (1) 双方向交流プログラム派遣

本学が協定を結ぶ海外の大学との間で学生の相互短期派遣を行い、国際感覚を培うことを目的としている。

本学学生の派遣は1週間程度で、派遣先の大学の講義の受講や、その国の文化などを体験する。なお、本学で海外の大学の学生を受け入れる際には、当該大学に派遣した学生も引率補助などホスト役として参加し、異文化交流を促進する。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

### (2) 双方向交流プログラム受入れ

本学が協定を結ぶ海外の大学との間で、学生を相互に派遣し、学生の国際感覚を培うことを目的としている。

海外からは協定校の学生を1週間程度受け入れ、本学授業の受講や研究室での共同研究や日本文化体験等を行う。また、先に当該大学に派遣した学生もホスト役として参加し、派遣・受入のお互いの立場を入れ替えて、異文化交流を行う。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受入れを中止した。

### (3) さくらサイエンス双方向交流派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の日本・アジア青少年サイエンス交流事業（SSP）を通じて本学に受入れた機関に対し、本学の教員及び学生を派遣して、双方向で交流を深めることを目的としている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

#### (4) マレーシアツイニングプログラム

マレーシア政府の資金によるマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP) とコンソーシアムを組む日本の大学(加盟校 24 大学)が、現地で3年間の準備教育、専門基礎教育(電気系・機械系)を受けたマレーシア人学生を3年次に編入学させるプログラムである(2010 年度より受入れ開始)。

本学の受入学科は、工学部電気工学科、理工学部電気電子情報工学科、機械工学科で、毎年11月に現地で編入学試験が実施され、今年度実施した編入学試験を通じて2021年に2名の入学が決定した。

##### 【2020 年度実績】

		2018	2019	2020	2021	計
工学部	電気工学科	1	1	0	0	2
理工学部	電気電子情報工学科	1	0	0	0	1
	機械工学科	2	2	0	2	6

※2020 年度についてはマレーシア政府人事院の意向により、国公立大学のみが受入の対象となったため、本学編入学者はなし。



## (5) インフラ整備

### ① 学生事故対策費用保険

留学する学生が個人で加入する海外旅行傷害保険に加え、学生が事故等に遭遇した際に、大学が各種費用の支出を余儀なくされた場合、その損害費用をてん補する 4 つの保険が、学生事故対策費用保険である。

見舞費用保険金 : 弔慰金又は見舞金を大学が支払う場合。

救援者費用保険金 : 家族や大学の代理人が救援のため現地に赴く費用を大学が負担する場合。

事故対応費用保険金 : 大学が事故対応のために大学関係者を現地に派遣した場合。

臨時費用保険金 : 大学が臨時に負担した費用に対し、救援者費用保険金と事故対応費用保険金の合計 20%に相当する額を大学に支払う。

利用件数 : 1 件

予算執行額 : 保険料 8,784 円

### ② 大学が企画する海外留学のための賠償責任保険（施設賠償責任保険）

大学が企画する留学制度を利用して、海外に留学する学生が、留学活動中に第三者に対して損害を発生させたことによって、第三者が大学に賠償責任を求めた場合に対応する保険である。

賠償責任保険 : 1 名あたり 1 億円 / 1 事故あたり最大 10 億円

利用件数 : 0 件

予算執行額 : 契約料 100,000 円

### ③ J-TAS 利用

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) が提供する、派遣学生向け・教育機関向けの危機管理サービスを、J-TAS サービスと呼ぶ。

派遣学生向けには、海外留学生サポートサービス（日常のトラブルから緊急時の相談まで 24 時間 365 日受け付ける）や、医療アシスタンスサービス（日本人の看護師・救急医が 24 時間 365 日対応し。精神科を含む専門的医療相談をカバー）となっている。

大学向けには、派遣学生、大学、アシスタンス会社、保険会社と情報を共有することで一元化し、傷害・事故の際には、一報を受けたアシスタンス会社の判断で迅速な初動対応を行い、事故処理までを海外旅行保険（渡航者契約）、学校向け危機管理サポートなどと組み合わせて行う。

利用件数 : 1 件

予算執行額 : サービス利用料 38,140 円

## (6) 学外団体への加盟

### ① JAFSA

本学の国際化に資する種々の情報を収集するため、JAFSA (国際教育交流協議会) に加盟している。JAFSA は、1968 年に設立され 2003 年に法人格を取得した特定非営利活動法人 (NPO) で、300 以上の大学・教育機関・企業を会員団体とするネットワーク組織である。

予算執行額：年会費 150,000 円

提供されるサービス：人材育成 (各種研修・セミナー等)、海外フェアへの参加等

### ② IAESTE

世界規模での技術的発展、国際理解と親善を促進し、質の高い実践的な滞在費支給型海外インターンシッププログラムを提供する非営利・非政府団体 IAESTE (イアエステ) に加盟し、本学内でのインターンを希望する学生を受入れている。IAESTE は、1948 年にイギリスで設立され 累計 35 万人以上のインターンシップ生を輩出し、世界 80 カ国以上に支部を持つ世界最大級のインターンシップ斡旋組織となっている。

予算執行額：年会費 400,000 円

提供されるサービス：海外インターンシップ学生受入れの斡旋

### ③ JCSOS

学生や大学等の教育機関に対し、危機管理セミナーの実施や海外安全情報の提供等を行うことを通じて、海外で学ぶ日本人学生の安全を図ることを目的として設立された特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会 (JCSOS) に加盟している。

予算執行額：年会費 100,000 円

提供されるサービス：J-TAS (JCSOS トータルアシスタンスサービス)、危機管理コンサルティング

## (7) 交流活動

### 留学生といっしょ！東京理科大学キャンパスツアー

小学生の科学への興味、外国文化への興味、ひいては子供たちが世界で活躍する夢を持つきっかけ作りを目的とし、本学留学生と葛飾の未来を担う青少年 (小学生) との交流会を開催している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止した。

## (8) 学内宿泊施設の管理・利用促進

グローバル人材の育成、国際交流の場の提供を目的とし、野田キャンパス内に「野田国際コミュニティハウス」を設置している。

当コミュニティハウス内には、ハウスアシスタント（以下「HA」という）と呼ばれる日本人留学生とペアで居住するシェアルームがあるが、国際化推進センター事業で受入れる短期滞在の外国人留学生が当施設へ入居し、日々の生活のサポートをHAがサポートしている。

協定校等からの受入れ学生が入居を希望する場合、一定の期間、国際化推進センター予算で外国人留学生の利用料の補助をしている。

2020 年度当コミュニティハウス利用実績（外国人留学生）：

国籍	入居者数
タイ	1
ベトナム	2
台湾	1

## (9) ビザ取得支援

本学の国際化推進支援のために、国際化推進センターでは、本学で直接雇用する外国人研究者、又は本学に新規入学予定である外国人留学生に向けて、長期滞在者向けの在留資格交付申請を代行している。

在留資格認定証明書に係る事務手続きを円滑に進めるため、学外行政書士法人と業務委託契約を本学は結んでおり、在留資格申請者の負担軽減に努めている。一定の要件を満たす場合の業務委託料は、国際化推進センター予算で負担している。

当課で支援する在留資格の種類は、「教授」及び「留学」である。

2020 年度当サービスを通しての在留資格認定証明書申請件数（2021 年 3 月時点）

在留資格	種別	件数
教授	ポストドクトラル研究員	12
留学	協定校等からの非正規留学生	2
	学位取得を目的とした正規留学生	59